



3

ここが変わった! 「昔」と「今」の子育て

時代の変化によって、子育てを取り巻く環境や情報も進歩しているため、「昔」と「今」の子育ても変化しています。皆さまも子育て中に、戸惑いや不安があったように、今子育てをしている親たちも同じように感じています。その同じ気持ちを抱いていたという経験こそが、あなたのお子さまたちの安心感につながります。

昔



母乳

ミルクの方が母乳より栄養があり、子どもがよく育つと言われていました。

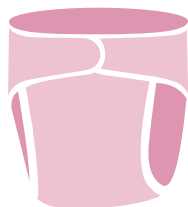
母乳には赤ちゃんに必要な栄養がたくさん含まれ、可能であれば積極的に母乳育児をすることを推進している病院がほとんどです。

今



おむつ

昔の紙おむつは今よりお値段が高い上に、品質はよくなかったため、布おむつが主流でした。

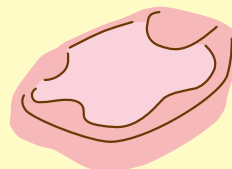


布おむつは通気性に優れ、赤ちゃんの肌に優しくかぶれにくい、排泄を知らせると言われますが、もれやすい、毎日の洗濯などの手間がかかります。現在の紙おむつは布おむつに比べ、もれにくくサイズが豊富で洗濯の手間もありません。ただし経済的な負担やゴミの発生が継続します。それぞれのメリット・デメリットを両方を知り、納得して上手に使いましょう。

沐浴

沐浴層を使うのが主流でした。

マットの上で赤ちゃんを洗い、シャワーで洗い流す方法も増えています。



※沐浴についてはP22を御参照ください。

抱きグセ

抱っこをすぐにしてしまうと「抱きグセがつく」と言われていました。



赤ちゃんが泣くのは何かの欲求を伝えたいからで、それに応えるための行動の一つに「抱っこ」があります。「抱きグセ」は付きませんので、安心して抱っこしてあげてください。



白湯・果汁など

お風呂あがりには「白湯」を。離乳食を始める前には「果汁」を飲ませないといけないと言われていました。



今では白湯を飲ませても構わないのですが、栄養がない白湯をあげるより、栄養たっぷりの母乳をあげたほうが良いです。果汁に関しても6か月未満の赤ちゃんには果汁を与えなくなっています。

※厚生労働省「授乳・離乳支援ガイド」参照

だっこ・おんぶ

昔は家事をする場合に両手が自由に使えたりできるのでおんぶが主流でした。



現在は、抱っこ紐などやスリングなど、様々なタイプの物があり、前抱っこ派が増えています。しかし、料理や家事をする際の抱っこは危険ですので注意が必要です。

※おんぶも見直されています。



はじめに

孫育て
スケジュール

孫育ての
メリット

孫育ての
基礎知識

一時預かり保育
地域子育て支援センター

医療費の助成と
「障がい」に対する支援

孫との遊び方

我が孫の
成長記録

ベビーパウダー

昔は赤ちゃんのお風呂上がりやおむつかぶれにはベビーパウダーをまぶすのが常識とされていました。



現在、大量のベビーパウダーは毛穴の汗腺を塞ぎ、湿疹やかぶれの原因になるので赤ちゃんへ使用することを控えるようにされています。赤ちゃんのお風呂上がりや日頃のお肌の手入れには、ローション、クリームなどが一般的です。

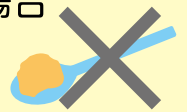


離乳食

食べやすいように、親が口の中で砕いて柔らかくしたものを食べさせていました。

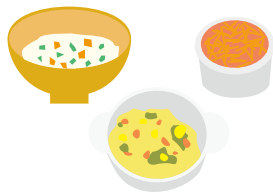


親の口の中で砕いたものを食べさせることや、箸やスプーンの共有は虫歯への影響はほとんどありませんがパパ、ママが気にしている場合もあるので確認しましょう。



食物アレルギー

「昔はアレルギーがなかった」といわれているほど、それほど多い病気ではありませんでした。



現在はアレルギーについてのガイドラインがあるほど、様々なアレルギーがあります。食べ物の場合は、親によく聞いて与えましょう。

※むやみに除去食をさせるのも栄養バランスが悪くなりよくないので、専門家に相談しましょう。



歩行器

赤ちゃんの歩行訓練になると言われていました。

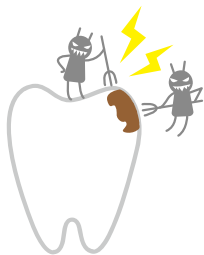


歩行開始を早めるものではなく、おもちゃの位置づけとして使用しています。今はむしろいっぱいハイハイさせるように言われています。



卒乳・断乳

栄養価がない、虫歯ができるなどで、「断乳」することが勧められることが多かったです。



「卒乳」といい、子どもから自主的に授乳をやめるのが主流となっています。



おむつはずれ

1歳くらいまでにおむつが外れることを目的としていました。



「トイレトレーニング」といい、おむつが外れるのは3歳前後が平均。パンツを脱ぐ、排せつ、パンツをはくという一連の動作ができることを目的にします。



予防接種

義務接種、集団接種していました。



「定期接種」とそれ以外の「任意接種」があります。医療も進歩し感染症を防ぐため現在では予防接種がたくさんあります。感染症のなかにはかかると重い後遺症が残るものもあり、任意のワクチンも大切です。祖父母の方は送迎などサポートをお願いします。

公益社団法人 日本小児科学会HP
<https://www.jpeds.or.jp/>

それぞれの時代の子育ての違いを理解して、「今」の子育てをサポートしていきましょう。

